

# 関東米粉食品メールマガジン

第190号 29. 1. 27 【毎月1回発行】

(18.7.20 創刊)

関東米粉食品メールマガジンは、**関東米粉食品普及推進協議会**が、会員の皆様から寄せられた様々な情報をもとに、米粉の利用拡大のために情報発信しています。



## ●目次

- <1> 米粉取組事例の紹介
- <2> 米粉イベント&募集のお知らせ
- <3> 都県事務局からのお知らせ
- <4> その他のお知らせ



\*\*\*\*\*

## < 1 > 米粉取組事例の紹介

### ◇埼玉県農商工連携フェアで米粉製品をPRします（埼玉県）

埼玉県米粉利用食品推進連絡会会員の、**のりす株式会社**、**みたけ食品工業株式会社**、**井上スパイス工業株式会社**では、2月8日（水）、さいたまスーパーアリーナ（さいたま市）で開催される「**埼玉県農商工連携フェア（同時開催：農と食の展示・商談会）**」で、米粉製品や米ゲルのPRを行いますので、米粉等にご興味のある事業者の方は、是非、ご来場下さい。

●詳細は、こちらをご覧ください

<https://www.saitama-noutoshoku.com/>



（左はブース、右は商品）  
昨年の農商工連携フェア



### ◇さいたまスイーツスタンプラリーに参加します（埼玉県）

**マイ（米）・アトリエ（埼玉県米粉利用食品推進連絡会会員）**では、2月1日（水）～3月5日（日）の間に開催される、さいたまスイーツラリーに参加し、米粉製品（シフォンケーキ、クッキー）のPRを行います。

●詳細は、こちらをご覧ください

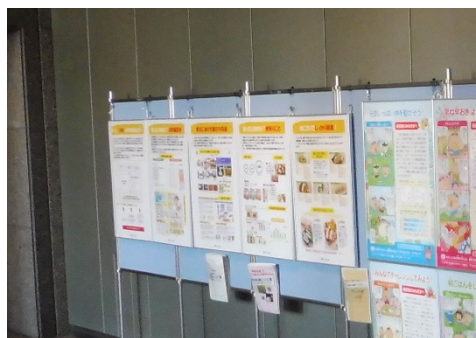
<http://www.city.saitama.jp/004/001/002/005/urawa/p051261.html>

## ◇関東農政局「消費者の部屋」1月特別展示でPR（関東農政局）

農林水産省関東農政局では、我が国の食料自給率が、平成27年度で約39%（カロリーベース）と先進国の中で最低となっている現状を踏まえ、米消費拡大の必要性について、広く国民に理解を深めていただくため、ごはんの魅力や米粉、お米の新しい消費形態を紹介するパネル展を次の2会場で開催し、米粉料理のレシピを配布して、米粉のPRを行いました。

【会場1】さいたま新都心合同庁舎2号館1階

期間：平成29年1月10日（火）～ 1月30日（月）



【会場2】埼玉県男女共同参画推進センター交流サロン

（さいたま市中央区新都心2-2 ホテルブリランテ武蔵野 4階）

期間：平成29年1月16日（月）～1月30日（月）



\*\*\*\*\*

## < 2 > 米粉イベント&募集のお知らせ

### ◇米粉パンの予約販売を行っています（埼玉県）

埼玉県米粉利用食品推進連絡会では、米粉利用拡大の一環として毎月1回「米粉パン」の販売を行っています。

現在は、国産米粉と北海道産小麦で作った「米粉ベーグル」の販売を行っており、リピーターになる方も多く、好評を得ています。

なお、購入に当たっては、事前予約が必要になりますので、購入希望等ございましたら、関東米粉食品普及推進協議会事務局（電話：048-740-0403）までお問い合わせ下さい。

#### ●今後の販売予定日

- ・平成29年2月21日（火）
- ・平成29年3月28日（火）

●製造者：WA ベーグル（有限会社 食生活）  
住所：さいたま市南区神明 1-10-15 メゾン・ド・コリン 1F  
TEL：048-844-6313 FAX：048-740-7866  
E-mail：[wabage11@gmail.com](mailto:wabage11@gmail.com)

\*\*\*\*\*

### < 3 > 各都県事務局からのお知らせ

#### ◇米粉に関する情報をお寄せください（関東）

関東米粉食品普及推進協議会では、会員の皆様はじめ米粉に関心のある方から広く情報を寄せていただき、メールマガジンやホームページなどで、広く発信していきます。

イベントへの出展、米粉製品取扱店舗や米粉商品等の情報がございましたら、ホームページに添付されている「米粉に関する連絡票」をご利用いただき、事務局宛てにメールやFAX等でお知らせください。

●連絡票のダウンロードは、こちらのページから。（エクセルファイル）  
<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komekojouhou/komekoibento.html>

#### ◇米粉料理教室の講師募集！！（埼玉県）

最近の米粉への関心の高さから、米粉料理教室が各地で開催され、**埼玉県米粉利用食品推進連絡会**にも講師派遣依頼についてお問い合わせをいただいております。

家庭での米粉の利用拡大につなげることを目的に、当連絡会においても講師をお引き受けていただける会員の皆様に登録をお願いしております。

つきましては、以下のとおり講師の募集をしておりますので、ご応募をお待ちしております。

●募集の案内はこちらからご覧いただけます（PDF 形式ファイル）。  
[http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/saitama/pdf/koushi\\_panfu.pdf](http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/saitama/pdf/koushi_panfu.pdf)

\*\*\*\*\*

### < 4 > その他のお知らせ

#### ◇「農業競争力強化プログラム」について（関東農政局）

国では、自由に農業経営ができる環境をつくり、農業の構造的な問題を解決し、農業者の皆さんの所得向上を図るため、全 13 項目の「農業競争力強化プログラム」を決定しました。

##### 【13 項目の内容】

1. 生産資材価格の引き下げ（肥料、農薬、機械、飼料など）
2. 流通・加工の構造改革（卸売市場関係業者、米卸売業者、量販店など）
3. 人材力の強化
4. 戦略的輸出体制の整備
5. 原料原産地表示の導入
6. チェックオフ（生産者から拠出金を徴収、販売促進等に活用）の導入
7. 収入保険制度の導入



8. 土地改良制度の見直し
9. 農村の就業構造の改善
10. 飼料用米の推進
11. 肉用牛・酪農の生産基盤強化
12. 配合飼料価格安定制度の安定運営
13. 生乳の改革

●プログラムの詳細については、こちらのアドレスから、各項目毎に説明動画がご覧になれます。

[http://www.maff.go.jp/j/kanbo/nougyo\\_kyousou\\_ryoku/index.html](http://www.maff.go.jp/j/kanbo/nougyo_kyousou_ryoku/index.html)

## ◇平成 29 年度予算が概算決定されました（関東農政局）

平成 29 年度予算が概算決定され、1 月 20 日に招集された通常国会に提出されました。米粉関連予算については次のとおりです。

- (1) 米粉の用途別基準やグルテンを含まない米粉製品の表示ルールの全国的な普及に向けた取組を支援します。

米粉の用途別基準やグルテンを含まない米粉製品の表示ルールについては、28 年度中にガイドラインが公表され、普及に向けた取組が始まります。

農林水産省では、産地活性化総合対策事業のうち革新的低コスト生産技術の波及展開支援を拡充し、取組を支援します。



(2) 米粉用米への支援が継続されます。

米粉用米への支援は、水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成により、数量に応じて55,000～105,000円/10aが交付されるとともに、多収性品種への取組を行った場合は、産地交付金により12,000円/10aが加算されることとされています。

平成29年度予算についても、水田活用の直接支払交付金として315,000百万円（前年に比べ7,235百万円増）が、概算決定されました。

※6次化や地産地消で米粉に取り組みたいと考えている方、米粉メーカー等との取引に主食のお米を使っている方などいましたら、関東農政局（都県支局）へお問い合わせ下さい。

### ◇グルテン不使用の米粉パン製造技術の開発について

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（略称：農研機構）が、平成29年1月26日（木）、グルテンや増粘剤を使わずに米粉パンを製造する技術を開発と発表しました。

市販の米粉を使って一般的なホームベーカリーやオーブンで作製可能で、小麦アレルギーへの対応や、米の消費拡大へ貢献することが期待されるとのことです。

詳しくは、農研機構のホームページをご覧ください。

●農研機構HP

[http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/nfri-neo/073238.html](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nfri-neo/073238.html)

### ◇「関東農政局メールマガジン」について

農林水産省関東農政局では、行政情報・地域の食と農のイベント情報などをタイムリーにお知らせするため、メールマガジンを発行しています。（隔週発行。無料）

購読を希望される方は、以下のリンクから登録をお願いいたします。

●関東農政局ホームページ

<http://www.maff.go.jp/kanto/houdou/kouhou/merumaga/index.html>

### ◇「食べて応援しよう！」の取組について

農林水産省関東農政局では、東日本大震災の被災地で生産された食品を積極的に消費することにより、産地の活力再生を通じて被災地の復興を応援するため「食べて応援しよう！」を共通のキャッチフレーズに、さまざまな取組の呼びかけを行っております。

ご賛同いただける方のご参加をお待ちしております。

●「食べて応援しよう！」へのリンク（関東農政局HP）

[http://www.maff.go.jp/kanto/ouen/pdf/tabete\\_ouen1.pdf](http://www.maff.go.jp/kanto/ouen/pdf/tabete_ouen1.pdf)

---

#### 【編集後記】

暖かく穏やかな天気が始まった2017年が、ひと月近く経過しようとしています。これまで世界的に最大のニュースと言えば、第45代アメリカ合衆国大統領に、ドナルド・トランプ氏が、就任したことでしょうか。歴代で初めて、政治家としての実績も軍歴も無い大統領が、世界の超大国アメリカの舵取りに、どのような手腕を発揮するか、今後も世界が注目しつづけるでしょう。

トランプ氏といえば、共和党内で指名獲得を争っていた頃から Twitter を利用していて、そのことが選挙結果へも少なからず影響があったと言われるほどですが、そんな SNS に関して、最近、私の身近に起こったできごとです。

友人から SNS の LINE で、子猫の里親探しについて情報の拡散依頼がありました。内容は、ブリーダーの倒産により、多くの子猫が 1～2 箇月のうちに処分されてしまうので、出来るだけ多くの人に情報を伝えて欲しいとのことでした。早速、Facebook など情報発信を始めた友人もいて、私自身も、友人からの依頼でもあり、情報の真偽について疑いを持つことは無く、普段使用しない SNS への、情報掲載を考えていました。

ところが、数時間後、別の同級生から、情報がデマであるとの連絡が入り、その後は、Facebook に掲載した情報の削除方法などを尋ねるやり取りが LINE 上でしばらく続きましたが、最初に情報を発信した友人は、ショックを受けていたようでした。

SNS など根も葉もないデマが拡散されることは知っていたものの、どのような形で拡散されるかまでは理解していませんでした。最初に発信した友人が、どのような形で情報を入手したかまではわかりませんが、自分自身が関係することになって初めて、先入観や思い込みによって、デマが拡散されることを知ることが出来ました。

ネット社会において、情報伝達のスピードや社会への影響力を考えたとき、SNS を利用した情報発信は、商品などの PR にとても有効な手段となります。2017 年の酉年を、米粉普及の飛躍の年にするため、取り扱う情報の出所や真偽には注意を払いつつも、SNS などを利用した PR も必要ではないかと感じました。

●米粉食品に関する情報は・・・

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komekojouhou/>

●関東米粉食品普及推進協議会を募集！「各都県協議会事務局まで」

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/>

●FOOD ACTION NIPPON「米粉倶楽部」公式サイト

<http://www.syokuryo.jp/komeko/>

●皆様のご意見・ご質問、ご要望をお待ちしています！

関東米粉食品普及推進協議会事務局（関東農政局 生産部生産振興課内）

TEL：048-740-0406（直通）

FAX：048-601-0533

\*メルマガバックナンバー ⇒ <http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/merumaga/>